

答え合わせ・解説

問1	答え 4 桃山文化	織田信長や豊臣秀吉が権力を握った時代を安土桃山時代と呼び、この時期の文化は「桃山文化」と称されます。力強い筆致や豪華な色彩を特徴とする屏風画は、新興の武士や豪商の活力を反映しており、狩野永徳はその代表的な絵師です。天平文化は奈良時代、元禄文化と化政文化は江戸時代の文化を指します。
問2	答え 4 明智光秀	織田信長は、天下統一を進める過程で家臣の明智光秀による謀反に遭い、本能寺において自害した。この事件は、1575年の長篠の戦いから7年後、また豊臣秀吉が1590年に関東の北条氏を滅ぼして天下統一を成し遂げる以前の出来事である。
問3	答え 4 太閤検地	それまでバラバラだった土地の測量基準を全国で統一し、一つの土地に対して一人の耕作者（農民）を登録しました。これにより、古い時代の荘園制度が完全に消滅し、農民から直接年貢を徴収する仕組みが確立されました。
問4	答え 4 ルターは聖書のドイツ語訳を行い、誰もが聖書を読めるようにすることで、教皇の権威を介さない信仰を広めた。	ルターは「万神父主義」を掲げ、信仰の唯一の根拠を聖書に置きました。当時、ラテン語で書かれていた聖書をドイツ語に翻訳し、印刷術の普及によって民衆に広めたことが、宗教改革が急速に拡大した大きな要因の一つです。スイスのカルバンは予定説を唱え、商工業者の営利活動を肯定するなど、ルターとは異なる背景で改革を推し進めました。
問5	答え 1 織田信長	室町幕府の第15代将軍であった足利義昭を京都から追放したことで、長らく続いた室町時代の政治体制を終わらせました。その後、安土城を拠点に天下統一を推し進め、中世から近世へと日本の歴史を大きく転換させる役割を果たしました。
問6	答え 3 文化復興運動によって科学技術が発展し、遠洋航海が可能になったことで、欧州人がアジアへ進出した。	ルネサンスによる科学技術の向上が大航海時代を支える基礎となりました。これによりポルトガル人やスペイン人がアジアへ進出し、その過程で種子島への鉄砲伝来や、フランシスコ・ザビエルによるキリスト教布教が実現しました。他の選択肢は、それぞれ産業革命、市民革命、宗教改革の内容であり、時期や直接的な背景が異なります。
問7	答え 4 灰吹法と呼ばれる精錬技術が導入されたことで、銀の生産効率が大幅に向上した。	石見銀山では、16世紀に博多の商人らによって朝鮮半島から「灰吹法」という高度な精錬技術が伝えられました。これにより高品質な銀の大量生産が可能になり、日本の銀は東アジアやヨーロッパとの交易において極めて重要な役割を担うようになりました。田中正造が訴えたのは栃木県の足尾銅山での鉱毒事件についてです。
問8	答え 1 長崎がイエズス会領となっていたことや、日本人が奴隷として海外へ売られている実態を秀吉が知ったため	九州平定を行っていた豊臣秀吉は、長崎がイエズス会に寄進されて教会領になっていることや、日本人が奴隷として海外へ売られている実態を知り、強い危機感を抱きました。これを受け、キリスト教の布教が天下統一の妨げになると判断し、宣教師の国外退去を命じる「バテレン追放令」を発令しました。一方で、ポルトガルとの貿易（南蛮貿易）については、利益を重視して継続を認めました。
問9	答え 3 免罪符	当時のローマ教会は多額の建築資金を必要としており、金銭で罪の許しを売る免罪符（贖有状）を販売していました。ルターはこれに対し「九十五ヶ条の論題」を発表し、信仰は金銭ではなく神の恵みと聖書に基づくべきだと強く抗議しました。これが宗教改革の出発点となりました。
問10	答え 4 種子島	1543年に九州の南方にある種子島へポルトガル人を乗せた船が漂着した際、当時の島主が鉄砲を買い取ったことで日本にその技術がもたらされました。選択肢にある平戸は江戸時代初期の対外貿易港、堺や博多は中世から栄えた自由都市であり、鉄砲の生産地としても知られるようになりますが、最初に伝来した場所は種子島です。
問11	答え 2 ポルトガルが確保していたアフリカ南端を回る東回り航路に対抗し、アジアの香辛料産地への独自ルートを確保するため	15世紀後半から16世紀にかけて、ポルトガルがアフリカ南端の喜望峰を回ってインドへ到達する「東回り航路」を独占していました。これに焦りを感じたスペインは、地球が球体であるならば西へ進んでもアジア（モルッカ諸島などの香辛料産地）に到達できると考え、マゼランの航海を支援しました。この航海の成功によって、スペインは西回りのルートを確立し、世界規模の貿易競争を激化させることになりました。
問12	答え 4 関所を廃止して物資の流通をスムーズにし、楽市・楽座によって城下町を活性化させることで、軍勢力や経済力を高めようとした。	織田信長は、領地内に数多く存在した関所を廃止することで人や物の動きを自由にしました。これと同時に「楽市・楽座」を行うことで、古い特権を持つ「座」の力を抑え、経済を活性化させました。これらの政策は、商人の支持を得るだけでなく、城下町を兵站（物資の補給）の拠点として機能させ、天下統一を推し進める原動力となりました。
問13	答え 2 ヨーロッパから持ち込まれた天然痘などの感染症が蔓延し、先住民の人口が激減した	コロンブスらの到達以降、ヨーロッパからそれまでアメリカ大陸には存在しなかった天然痘、はしか、インフルエンザなどの感染症が持ち込まれました。これらの病気に対して免疫を持たなかった先住民は、植民地支配による過酷な労働や武力衝突と相まって、極めて短期間のうちに人口を大きく減らすこととなりました。この労働力不足を補うために、後にアフリカから多くの人々が奴隷として連れてこられるという歴史的背景があります。